



発行所 高松市田村町1033-3 TEL (087) 867-4797 FAX (087) 867-6446 香川県教職員組合 定価 1部50円 1月100円 (組合員の購読料は組合費に含む)

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

教育をよくする 県民会議総会 お知らせ 10月2日(日) 香川大学 教育学部 812教室 13:30~

長時間過密労働の解消は急務！

第311回香教組中央委員会開催



開会宣言をする高松支部長 平賀さん

8月27日(土) 高松テルサで第311回香教組中央委員会を開催しました。2016年3月から6月までの、運動についての総括と下半期の運動について話し合いました。

納得できる人事異動を求める

2015年度末人事異動について、組合員についてはおおむね納得のいく人事異動だったのではないかと総括しました。しかし、香教組が独自に行ったアンケート調査によると異動に「納得していない」と回答した人が事務所内異動では、33%広域異動では36%います。「広域異動を希望していない」のに異動した44%のうち36%が納得しないまま新任地で勤務していることになりました。香教組は、全ての教職員の「今後も希望と納得のいく異動」求めて運動を続けます。

現職死は出さない！ 長時間過密労働解消を

三豊支部からは、「2015年度3人の現職死があった。いずれも突然死。それくらい現場の勤務が激務だということだ。西部事務所や市教委へこの問題について強く要請した。西部事務所は、所長が亡くなったこともあり、真剣に受けとめていたが、現場の状況は一向に変わっていない」と報告がありました。大川支部からは、「新規採用者が健康診断を受けることができず、病に倒れた例をあげ、人間ドックや検診の制度に問題があるのでは」との意見が出ました。

平和な未来を子どもたちに

3月29日、「安全保障関連法」が施行され、現在、最も危険な紛争地域と言われる南スーダン

夏の教育講座



ロールプレイや映像を通して 分かりやすく講話する 尚綱学振大学付属幼稚園園長 岩倉政城さん(上)

「他者とつながろうとする心の核はどこから生まれるのだろうー音楽に聴く育ちの原点 柔らかな皮膚しかないわけはー

8月27日、津田教育会館主催「夏の教育講座」を高松テルサで開催しました。終始笑顔で、参加者の中に入り、ともに考えていこうとする岩倉さんの話に、参加者はいっしょの間にか笑顔になり、岩倉さんの話に引き込まれていました。岩倉さんは、「人と人が心を通わす手段は、言葉だけではない。『触れる』『抱く』『撫でる』『さする』『あやす』『ぬくめる』『ゆびさき』『握手』『ハタタッチ』『髪を編む』『濡れた髪、肩を拭く』など柔らかな皮膚を通して

してこそ可能。この社会で一番難しいのは言葉。言葉だけで教育し、道徳を教えようとするのが本来間違いではないか。触覚こそが子どもたちの心の安定を生む。触覚を通して『同じ思いをもった人と関わる』ことがどんなに素敵なことだろう。人間って怖くないよ」と教えないといけない時代になった。触覚を通して、子どもたちに安心と安定を与えて欲しいと熱く語りました。参加者は、「わが子や孫、教室の子どもたちと重ねながら聞いた。すぐに、やってみようと思う」「子どもとかかわり方反省した」などと話していました。

に自衛隊が送られています。自衛隊への入隊は、子どもの貧困や格差とも関係しています。「おかしな」と声をあげにくい社会や職場づくりが目に見えない形で広がってきているとの報告がありました。「子どもたちに、平和な未来」

▼社会はとも速いスピードで動いている。情報も溢れている。授業をしていると子どもたちの方がよく知っていることもある。昔のように情報の収集方法が少なく、教員が情報源だったときは様変わりしている。現代の教員は厳しい状況に置かれてると言えるだろう。だからこそ、「学ぶ」ことが大切になってくる▼学び方もまた読書に限らず、様々な方法がある。これは、長時間過密労働を解消し、教職員が「時間」「こころ」「お金」のゆとりを得ることで解決するのではないかと▼さて、先の「年休申請に理由は不要、4%の意味」などは、管理職登用試験の準備のために学んでいるはず。忘れていいのか、学んだことを活用できないのか。迷惑な話だ。

小黑板

夏休みに職員会議 や現職教育の時間外 延長分の割り振りを 要求したところ、管理職の返答は「4%もらっているから？」▼年休を申請したところ、理由をしつこく聞く管理職▼ADHDの子どもの威圧的に教室に入れ着席を求め、それをしない担任に「あなたは甘い」と指導する管理職など現場から「はてな？」と思うような悲鳴が香教組に届く。これは一例だが、どれも、きちんと学んでいればおかしなことが分かる▼ある書に「一番読書をしないのが教員」と皮肉たっぷりに書かれていたのを思い出す。確かに、日々の業務に追われ「読書の時間の確保」は難しいのが現状だ

学ぶことの大切さ

